

## 行政調査報告書「健康福祉常任委員会」

令和4年7月20日～22日

### ■千葉県柏市 『スマートシティモデル事業におけるウェルネスの取組について』

あらゆる世代が将来にわたり健康で生き生きと暮らすことのできるまちを目指した取組を行っている。医療機関サービスのスマート化の取組として、病院の遠隔チェックインに関する実証実験を実施している。その実験は、患者が駅に着くとアプリから病院にチェックインができ、待ち時間の短縮につながるというもの。

まち全体で健康をサポートする仕組みは、本市においても参考にしたい。



### ■千葉県木更津市

#### 『地域通貨「アクアコイン」における高齢者等への取組（リストバンド決済等）について』



スマートフォンの専用アプリから使用する地域通貨として、地元の金融機関、商工会議所、市が連携して導入した。高齢者への普及のため、スマホ教室への参加や一定の歩数を歩くことにより、ポイントが加算される工夫をしている。また、スマホを持たない高齢者にはICチップを内蔵したリストバンドを配付し、ワンタッチで決済ができるという実証実験をしている。このような地域通貨の存続には、商店街や様々な団体を巻き込み、市全体で考える必要性を感じた。

### ■埼玉県さいたま市 『スマートシティ推進事業における健康マイレージの取組について』

この取組は、スマートフォンのアプリや活動量計から計測した歩数や、各種健診の受診でポイントが付与されるというシステムとなっている。付与されたポイントで、景品の抽選に参加ができ、Tポイントなどにも交換できる。薬局やスポーツクラブ、製薬会社などと連携し、事業を実施している。



健康マイレージ事業はどこの地域でも伸び悩みに苦心しているため、インセンティブや新たなアイデアが必要と感じた。